

科目	地理B	学年	第3学年	開講	通年	必修	4 単位
----	-----	----	------	----	----	----	------

学習目標	現代世界の地理的事象を地誌的に考察し、諸地域の歴史的背景を踏まえながら系統地理的認識を養うとともに、国際社会に主体的に生きる人としての自覚と資質を養う。
------	--

教科書： 帝国書院 「新詳地理B」「新詳高等地図」

副教材： 帝国書院 「新詳地理資料COMPLETE」「パワーアップ整理と演習」

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查					
前期	さまざまな地図と地理的技術	地理情報と地図	現代世界の地図	・歴史上の地図とその時代背景の変化について考察する。	4	中間					
			地図の種類とその利用	・現代世界の地図について、どのような技術が利用して作られているかを理解し、その有用性を理解する。	5						
			地理情報の地図化	・球体としての地球をとらえ、緯度・経度の違いによって生じる時差や、気候の変化などを理解する。							
		地図の活用と地域調査	地図の活用 身近な地域の調査								
	現代世界の系統地理的考察	自然環境	世界の地形	・世界の地形について、その成分や地形の分布などを考察すると共に、人間の生活との関わりを考察する。	6	期末					
			世界の気候	・地域ごとの違いについてその要因と気候区分と人間生活の関わりを理解する。							
			日本の自然の特徴と人々の生活	・世界・日本の環境問題についてその背景や影響を							
			環境問題	・世界の農林水産業について、自然条件や社会条件に関連つけて、地域区分と共に捉える。							
		資源と産業	産業の発達と変化	・食糧問題について、先進国と発展途上国を比較し、その問題点の解決方法を考察する。	7						
			世界の農林水産業	・世界のエネルギー・鉱山資源についてそれぞれの種類や分布地域などを理解する。							
			食料問題	・世界と日本のエネルギー問題について、その原因と今後の動向を考察する。							
			世界のエネルギー・鉱山資源	・世界の工業について、発達過程や種類、立地などの現状と課題を考察する。							
			資源・エネルギー問題	・世界を結ぶ交通・通信について、交通機関の特徴や種類を捉えと共に、世界を結ぶ交通とその格差を理解する。							
			世界の工業	・進展する現代の世界貿易と国際分業についてや、日本の貿易について考察する。							
			第3次産業								
世界を結ぶ交通・通信		9									
現代世界の貿易と経済圏											
前期 授業評価											
後期	現代地理的世界の考察系	人口・村落・都市	世界の人口	・世界の人口についてその分布の特徴や人口構成、人口転換について理解する。	10	中間					
			人口問題	・人口問題について、発展途上国と先進国を比較し、それぞれの要因と対策を考察する。							
			村落と都市	・日本の人口問題の課題と、その解決のための取り組みについて考察する。			11				
			都市・居住問題								
	現代世界の地誌的考察	生活文化、民族、宗教	生活文化	・世界の衣食住について、その特徴と地域格差を理解する。また、世界の衣食住の画一化にも着目し、今後の変化を考察する。	12						
			民族と宗教	・民族と言語、宗教の分布や特徴を理解し、生活との関わりを考察する。							
			現代世界の国家	・現代国家の考え方や国家間の課題を考察する。							
			民族・領土問題								
		現代世界の地域区分現代世界の諸地域	東アジア	・国・地域ごとの地域区分とそれぞれの特徴について理解する。	1						
			東南アジア	・それぞれの国の地域区分に基づき、自然環境や工業、農業などの項目ごとに整理をする。							
			南アジア	・各国の日本との結びつきを考察し、地域特色への理解を深める。							
			西アジアと中央アジア	・宗教と生活の関わりや文化的な取り組みについて考察する。							
			北アフリカとサハラ以南のアフリカ								
			ヨーロッパ								
			ロシア								
			アングロアメリカ								
			ラテンアメリカ								
			オセアニア								
			日本が抱える地理的な諸課題	・現代の日本が抱える地理的な諸課題について多面的・多角的に考察し、その解決の方向性や日本の将来像について考察する。			2				
			日本の抱える課題の追求								
			後期 授業評価						期末		

評価の観点 評価方法	世界各国の地域について、地理的・地誌的な面からとらえ、それぞれの特徴を日本との関わりを含めて考察することが出来たか。 ○知識・技能 : 定期考査、レポート ○思考・判断・表現 : 定期考査、レポート ○主体的に学習に取り組む態度 : 平素の授業態度、提出物等 ＜評価算出方法＞ 定期考査(100点×4)+平常点(100点)/500点 ※考査素点4: 平常点1の割合で算出する。
---------------	--